



あしや
市議会
だより

2023年8月 No.125



「トキメキ」
「ヒラメキ」
岩園幼稚園



岩園
幼稚園

昭和9年創立の歴史を持ち、「しなやかに たくましく 生きる子」を教育目標に掲げ、子ども達が安心して楽しく生活できるようチーム保育を実施しています。今年の5月には築山に新しい土が入り、子ども達はいろいろな遊び方を自分たちで考えながら元気に楽しく過ごしています。

●注目の議案をPick up ●一般質問 ●議会新体制の紹介

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

注目の議案

令和5年
5月臨時会
5月18日
(1日間)

令和5年
6月定例会
6月9日～
6月30日
(22日間)

5月臨時会および6月定例会では全部で26件(市長提出議案…19件、議員提出議案…2件、請願…3件、陳情…2件)の議案等が審議されました。今号では、この中から4つの項目をピックアップして紹介します。

Pick up1

(第45号議案)
打出教育文化センター・打出公園などを一体的に改修へ

可決
(全員一致)

【内容】
打出教育文化センターの老朽化に伴い、今後の施設の在り方を地元住民等と検討を重ねた結果、同センター、図書館打出分室、日本庭園および打出公園の一体整備により、利便性の高い施設となるよう改修を行うもの。

委員会での質疑

- 議員** 今回、打出公園内に猿のおりがあったことが分かるサインが3カ所設置されるが、それ以外にも、そのことが連想される工夫をするのか。
- 市** スイング遊具や複合遊具などにも工夫を凝らしていく。
- 議員** 打出公園における今後のトイレの利用はどうなるのか。
- 市** 維持費の面からも隣接する打出教育文化センターのトイレを利用してもらうことになるが、同センターの開館時間を延ばすなど、トイレが利用できる時間帯をできるだけ増やしていく方向で考えている。
- 議員** 公園内へのトイレ設置の要望が高まりを見せた時には設置は可能なのか。
- 市** 今回は隣り合う公共施設を一体的に整備するため、トイレは1カ所にまとめることになるが、必要な場所についてはしっかり残していく。
- 議員** 今回の改修を機に、常設の赤ちゃんの駅を設置することはできないのか。
- 教委** 場所にも限りがあるため、センター内の和室を利用してもらうことを予定している。



完成予想図
(令和6年4月リニューアルオープン予定)



※詳細については市ホームページをご覧ください。

市に対する意見・要望など

- 打出教育文化センター内にトイレがあることが分かるような看板の設置や、同センターを利用して迷惑に思われないような対策を行うよう求める。
- センター内の会議室やホールについては、別途ワークショップを開き、市民の利用も含めた改修工事の在り方を考えていくことになるが、同センター内には適応教室(のび学級)もあるため、本来の役割を見失うことのないようにしてほしい。
- 不登校の児童生徒が増える中で、この改修のタイミングで、のび学級のスペースをしっかりと確保し、教育の場をきちんと保障してほしい。



平成22年頃の2代目猿のおり

Pick up2

(第47号議案)
第一跨線橋撤去工事に係る協定を締結

可決
(賛成多数)

【内容】
JR東海道本線と交差している第一跨線橋の撤去工事等を行うために、西日本旅客鉄道株式会社と11億9656万5000円で基本協定を締結するもの。
工事期間は令和5年度から令和9年度まで

委員会での質疑

- 議員** 協定金額が妥当なのか判断が難しいが、積算根拠はあるのか。
- 市** 相手方から概算額の提示は受けているが、協定後に詳細設計が行われ、積算が開始されるため、現段階ではこれ以上の根拠資料はない。
- 議員** 協定金額が約12億円であり、以前に示された約10億円から上振れしていることについて、橋を架けたのは相手方であり本市は移管された側という経緯を含め、本市の主張をしっかりと伝えるべきではないのか。
- 市** 協定の締結後、相手方とは月1回程度の定例の会議を持ち、工事の内容についても適宜確認し、協議を行っていく。
- 議員** 基本協定書(案)の損害の負担について、条文では本市の責任範囲が大きいように解されるが、条文の変更はできないのか。
- 市** 基本協定については、何度も協議を進めてきたが、相手方は全国的に協定の形を整えており、変更は難しいが、年度協定を締結していく中で協議していく。

市に関する訴えや苦情があった場合は、相手方と市の双方で共有をし、騒音・振動・粉じん等の低減措置や工法の見直しを協議しながら対応していく。

市に対する意見・要望など

- 仮に跨線橋の一部が剥がれて線路上に落下し、物的損害が発生した場合の損害賠償保険の上限額が1000万円では賅いきれないことも考えられるので、上限額の見直しを早急に検討してほしい。



撤去される第一跨線橋

※附帯決議とは、可決された議案に対し、事務を執行する上での意見や要望を述べるために提出されるものである。

一般質問

6月19日から21日までの3日間に19人の議員が、計56項目の一般質問を行いました。内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページ「議会中継」をご覧ください。

詳しくはこちらから↓



Pick up3

(第42号議案)
JR芦屋駅南地区再開発事業に係る駅舎改良工事等に関する補正予算

可決
(賛成多数)

【内容】
旧駅舎の耐震補強工事の際にコンクリートの状態が悪いことが判明し必要となった追加工事やJR側の図面から想定できなかった地中障害物の撤去工事、また、駅舎改良のための機械設備を当初計画とは別の場所から搬入する必要が生じたことにより経費を追加するもの。

委員会での質疑

- 議員** 補正予算の財源に国の負担がないのはなぜか。
- 市** 国へは、前年度に、次年度において執行見込みであるものについて補助金の申請をすることになるが、その時点においてはJRも本市も追加工事を想定しなかったため、申請できていない。
- 議員** 物価高騰や資材価格の上昇もあり、工事金額は平成30年の工事に関する協定の締結時よりも上がっていると思われるが、その部分の費用負担を交渉する余地はあるのか。
- 市** 今回は増額の補正予算を計上しているが、協定で締結している駅舎改良工事全体の市の負担額は減少する見込みである。

【市に対する意見・要望など】
●年度途中においても、本来であれば国が負担すべきものが負担されないことは不合理である。国が負担しないことが前提であれば、JRと折半するのがあるべき姿であり、負担の在り方について、問題意識を持ってもらいたいことを含めて、国への対応をお願いする。

寺前 尊文

至誠会

市長の公約実現に向けて

議員 選挙で掲げた「再開発事業の見直し」は行政内部や議会での再度の合意形成が必要であり、「公教育の個別最適化」は教員の人事権など解消すべき課題も多い。市長就任後、考えに変わりはしないか。また、公約の実現に向けて、取り組みたいことは何か？

市 私が市長に就任した後もJR芦屋駅南地区再開発事業に対する認識に大きな変化はなく、計画の一部見直しを検討するに当たり、「緑」集える「歩ける」「未来志向」「地権者の生活を守る」の5原則を公表した。「公教育の個別最適化」は、私が最もこだわりたいテーマである。「教育」の根幹をなすもので、この想いは就任後も全く変わっていない。今後、現場の先生方との対話も進めたい。



落葉清掃にごみ袋の無償提供を

議員 指定ごみ袋の導入に合わせて、自主的に清掃をする市民へ無償提供を検討してほしい。

市 自治会等の団体の落ち葉の清掃をしていただいた際は、中身の見える袋であれば、これまで通りの対応をする。



府中市が無償提供するボランティア清掃用袋(落ち葉用70ℓ)同様の取り組みが全国で増えている。

◆その他の質問

介護事業者の事業継続について

Pick up4

(請願第3号)
市立学校体育館の空調・感染対策設備設置に関する請願書

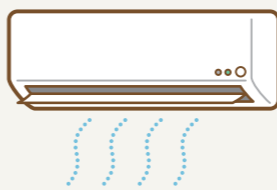
採択
(全員一致)

【内容】
市立の小・中学校体育館などにおける空調(エアコン)と感染対策設備の設置について、検討を求めるもの。

委員会での質疑

- 議員** 現在、市では設置に関してどのように考えているのか。
- 市** 設備費用やランニングコストが非常に高額であることや設置場所の問題等もあり、体育館へのエアコンの設置までには至っていない。現状では、建て替えの際に少しずつ前進させているような状況である。
- 議員** 子どもたちの熱中症対策や避難所となり得る場所という観点からも、体育館には空調設備があったほうがいいのではないか。
- 市** 体育館の空調設備は特殊なものとなり、コストが相当かかるため、導入は慎重に考えざるを得ない。現状、避難所を開設する際は、まずはエアコンのある部屋に避難してもらうことを前提にしている。
- 議員** 感染症対策として、エアコン取り付けフィルターは有効なのか。
- 紹介** フィルターが実際に販売されていることは把握している。コロナ対策だけでなく、将来的に発生する恐れのある別の感染症も見据えたものである。

【賛成討論】
●建物の更新時期に設置を検討することのことが、何かあってからでは遅いので、計画的な設置を行ってもらいたい。



※全ての議案等の内容と審議結果は11ページの「審議結果一覧」をご覧ください。

福井 美奈子

あしや政風会

職員の人材育成について

議員 新市長の下、新しい市役所づくりに関わる職員の人材育成の重要性と課題を問う。

市 持続可能で効率的な行政運営を行うためには、職員の資質向上はもとより、専門性の高い課題にも対応できる職員の育成が必要不可欠である。職員とともに新しい施策を実現するに当たっては、職員のモチベーションをさらに引き出すことが今後の課題だと考えている。

議員 今後の職員研修について、基本方針を問う。

市 職員研修の基本方針は、行政の常識にとらわれることなく仕事の目的や根拠を意識し、効率的かつ効果的に行うことである。



自転車のヘルメット着用について

議員 自転車事故の現状について問う。

市 本市における自転車事故の件数は、令和2年で68件、令和3年で107件、令和4年で89件と推移している。

議員 他の自治体でも始まっている自転車ヘルメットの購入補助制度の創設を要望するが、見解を問う。

市 ヘルメット購入の補助制度の創設よりも、まずは事故予防の観点から交通ルールのにおける意識の向上が重要と考えており、ヘルメット装着に関しても、指導、啓発に取り組んでいく。



◆その他の質問

市役所本庁舎における安全対策について

川上 あさえ

あしや政風会

若者の政治参加について

議員 若者の投票率が低迷している現状をどう考えているのか。また、若者の政治参加を促す今後の取り組みについて問う。

市 若者の政治参加は、若屋の未来を創る上で大変重要である。若者の政治参加・社会参画を体現する場として、若者を対象とした議論の場をつくり、頂いた提言の実現に向けて、行政がサポートする仕組みづくりを検討していく。



マンション管理政策について

議員 高齢年マンションの現状と今後の対策について問う。

市 本市の分譲マンションの総数は現在419棟で、そのうち、築40年を超えるものは105棟である。今後、市が定期的にマンションの管理状況等を把握できる仕組みが必要だと考えており、現在、マンション管理条例の制定に向けた準備を進めている。

A-1の運用について

議員 自動応答システムとLINEの連携は可能か。

市 現在、本市のLINEの用途を主に道路や公園の不具合連絡ツールとしているが、チャットボットの機能も追加する。

議員 チャットGPTの活用をどう捉えるのか。

市 将来的には業務の効率化や新たな事業を考える際の情報収集などに役立つものと考えているが、チャットGPTをはじめとする生成AIの活用は、安全性を確保しつつ、業務効率化の有効性なども見極めながら検討していく。

◆その他の質問

市内のスポーツ、文化振興について

小学校の長期休暇における 学童保育・キッズスクエアでの お弁当配食について



議員 長期休暇中（夏休み等）における保護者の毎朝のお弁当作りの負担軽減と、食中毒対策の観点からも、夏場でも安心しておいしなお弁当を届けることができるお弁当配食サービスを本市において導入すべきだと考えるがどうか。

教委 現在、配食サービスは導入していないが、導入されている他の自治体の事例を研究していく。

芦屋市指定ごみ袋について

議員 色指定ごみ袋での制度運用が本市のニーズに合致していると考えられるがどうか。

市 指定ごみ袋の種類は、他市の事例や市民アンケートなどを参考に、破れにくく、環境へ配慮した素材にするため、本市専用の指定ごみ袋にしている。この導入をきっかけに、市民の皆さまの環境意識の醸成につなげていきたいと考えている。

◆その他の質問

・台風等警報時の小学校自主登校園制度の導入について

JR芦屋駅南再開発事業 について



JR芦屋駅南の様子

議員 高さや面積などの計画変更は困難なことが明らかになっている。市民の中に白紙撤回するとの間違った情報が伝わっていることは問題ではないか。

市 地権者の生活を守る観点から、大幅な変更は予定していない。現在、事業見直しの検討を進めているが、再開発事業も行政の継続性は保持すべきと考えており、これまで市当局と議会の双方で積み上げてきた内容は、大変重いものであると受け止めている。

ユニバーサルデザインの前進 について

議員 第5次芦屋市総合計画には「ユニバーサルデザインも取り入れた包摂的なまちを目指す」とあり、大きく前進すると期待しているがどうか。

市 私の所信表明における「世界で一番住み続けたい芦屋を創る」という決意は、本計画の基本方針に通ずるものであり、ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりを今後も進めていく考えである。

◆その他の質問

・子ども子育て施策の今後の展開について
・公教育の在り方について ほか

教育の抜本的な見直しを



議員 不登校・ひきこもり、いじめなどの教育問題が増加傾向にある根本的な原因をどのように考えているのか。

教委 不登校・いじめは、学校・家庭・本人など、個々にさまざまな要因があり、少子化が進んでいる中で増加傾向の原因を特定することは難しいと考えている。

議員 自己肯定感を育み、芦屋や日本のことを考え、行動できる人づくりとしての教育を行う公立のユニバーサルを設立してはどうか。

教委 ニュースクールの設立は考えていないが、引き続き、自己肯定感を高め、友達や家族、地域に愛着を持ち、お互いを尊重し合う心を育む教育を積み上げていくことが大切であると考えている。

集会所の新たな活用方法を

議員 地区集会所の存続について問う。

市 地区集会所は、地域コミュニティの拠点として設置しており、私（市長）も全ての集会所を回り、その必要性を改めて認識した。引き続き、地域の皆さまが利用しやすい施設となるよう意見を聞いていく。

議員 農産物マルシェを開催してはどうか。

市 地区集会所を利用して、地域の方が主体となり、マルシェを開催することは地域の活性化につながると考えるが、条例により、営利を目的とする利用は制限されているため、集会所の運営協議会主体のイベントなど、その範囲内で活用していただきた

ヘルプマークの周知・ 理解について



議員 近年、芦屋市でもヘルプマークを目にすることが多くなった。ヘルプマークの知識を深めるため、取得手順を問う。

市 援助や配慮が必要な方には、要介護度や障がいの有無などにかかわらず、申し出るに基づき、市役所窓口やご家庭・保健センター、ラポルテ市民サービスコーナー、高齢者生活支援センターで配布している。

議員 今後もヘルプマークが広く周知されることを望む。

市 広報あしや、市のホームページなどで周知に努めている。

学校の教員不足と業務サポート の改善について

議員 働き方改革として、教員の残業や過重労働における対策、取り組みについて問う。

教委 兵庫県教育委員会の「教職員の勤務時間適正化推進プラン」を基に、「環境」「人材」「意識改革」の観点から改善に取り組んでいる。主なものとして、「環境」では、学校行事の見直しや時間外電話対応応答メッセージの設置、校務支援システムの活用を、「人材」では、学校業務サポーターや介助員、支援員、チューター等の外部人材の配置を、「意識改革」では、ノー残業デー・定時退勤日の徹底や退勤時間の目標明示などを行っている。

子どもの医療費助成について

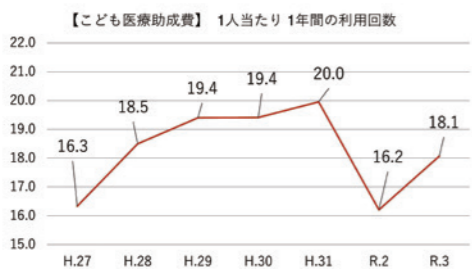


議員 市長は子どもの医療費助成の拡大を公約に掲げていたが、今後どのように進めていくのか。

市 子どもの医療費助成は、制度拡充の対象範囲や実施手法、予算措置について、慎重に検討し、来年度から制度拡充を進められるよう取り組んでいる。

議員 制度拡大は受診者の増加につながる予想する。現状でも小児科クリニックでは混雑しているところもあるため、オンライン予約の拡大やクリニックの場所を示すマップの配布など、利用者が分散利用できるような環境づくりも併せて必要ではないか。

市 受診回数の増加等の懸念については、医師会・歯科医師会・薬剤師会にも相談し、提案のあった手法も含め検討していく。



◆その他の質問

・地域の「ミニミニチャイルドセンター

芦屋市産後ケア事業について



議員 芦屋市では、市内5カ所の施設で、お母さんと赤ちゃんの体調などに合わせて、宿泊型や通所型による心身のケアを受けることができる。より使いやすい制度とするため、市内にお住まいのお母さんと生後1年以内の赤ちゃんにまで年齢要件を広げ、助産師が自宅を訪問してケアを行う訪問型の新設を求めるがどうか。

市 産後ケア事業は、市内在住の母親と4カ月以内の赤ちゃんを対象に、宿泊や通所による心身のケアや健康管理を行う事業である。

令和2年度に芦屋病院1施設で開始したが、令和3年度からは5施設に増やしている。現状の課題を踏まえ、今後、幅広く市民が利用できるより良い制度となるよう研究していく。



◆その他の質問

・施政の基本方針に対する考え方について
・乳幼児等・子ども医療費助成制度に対する市の考え方について

給食費の無償化について



議員 二圧倒的に子育てしやすい芦屋の実現において、給食費の無償化を検討する考えはあるか。

市 義務教育の無償の観点から、本来、国で議論されるものと考えているため、本市独自の実施は考えていない。なお、閣議決定された「子ども未来戦略方針」では、学校給食費の無償化に向けて、具体的な方策を検討することが明記されているため、今後の動向を注視していく。

キャッシュレス決済対応について



議員 市税へのキャッシュレス決済導入が近隣市と比較遅くなった理由は？

市 クレジットカード決済の開始時期を令和5年度からにしたのは、地方税共通納税システムの対象税目が将来的に拡大される可能性があり、本市独自の先行導入によって発生する費用面を考慮したためである。

議員 地域経済振興の観点から、スマホ決済還元キャンペーンの継続実施を求めるがどうか。

市 今後の実施については、引き続き、事業者のニーズの把握に努めた上で、財源等も考え、適切に判断していく。

◆その他の質問

・中学校部活動の統合運営について
・芦屋市の「海」に関する有効活用および現状の危険個所の対策について

JR芦屋駅南地区再開発事業 について



議員 このタイミングで幅広く意見を募集し、計画に反映できるのか。

市 現在、「緑があふれ居心地が良く、歩きたくなるような芦屋らしい駅前再開発へ」をテーマに、事業に関する市民の声を聞きながら、計画の見直しを進めている。

議員 再開発ビルについて、市長が選挙前に掲げた政策と、就任後の発言に違いがある。政策が変わるならば、市民に説明すべきではないか。

市 管理処分計画を白紙に戻すことや、建物の高さを大幅に変更することは難しいという認識に変わりはない。引き続き、丁寧な説明に努めていく。

子ども医療費無料制度の拡充 について

議員 目指す方向は「高校3年生まで、所得制限なし」なのか。また、具体的なスケジュールについて問う。

市 子どもの医療費助成については、署名活動を含め、多くの市民の方から声を頂いている。現在、無償化の拡充対象の範囲や実施手法、予算措置を慎重に検討しており、来年度から制度の拡充を進められるよう取り組んでいる。

◆その他の質問

・市長の市政運営について

就学前の子どもへの支援について

議員 保育所等において、不適切な事故が起らないための取り組みはできていないのか。

市 巡回訪問等を通じて、保育現場と密にコミュニケーションを取り、日々の保育実践を支援するとともに、研修を開催し、知識の向上に努めている。

教委 日々の保育の中で、子どもへの不適切な言葉かけや関わり方について、自由に話し合える職場づくりや、さまざまな研究会で、お互いの保育を見合い、振り返ることで、人権尊重の意識を高めている。また、保護者や学校評議員の方々、指導主事などが保育を見る機会を定期的に持ち、不適切な事例の未然防止につなげている。

議員 ことも家庭庁が示したガイドラインは、職員に周知徹底されているのか。

市 各施設宛てへの周知に加え、私立園長会を通じて、全職員への周知依頼もしている。

議員 ことも家庭ソーシャルワーカーの資格が創設されるが、特に現場で働く保育士の資格取得の援助も含め、活用方法を検討すべきではないか。

市 今年度開設した「ことも家庭・保健センター」の職員が、ことも家庭福祉に関する専門性を学び、より良い支援の実践につなげるために活用したいと考えている。なお、資格取得の援助については、国の動向を注視していく。



認知症高齢者の見守り・SOS ネットワーク事業について

議員 認知症高齢者が行方不明になった場合の見守り・SOS ネットワークについて、事前登録者数が少ないのではないのか。

市 登録されている認知症の方は27名であり、ネットワークへの登録は、今年度から開始する認知症高齢者個人賠償責任保険の加入要件の一つであるため、併せて効果的な周知・啓発を行い登録者数が増えるよう努めていく。



【見守り・SOSネットワーク協力員】
高齢者生活支援センター、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、介護保険サービス事業所、地域見まもりネット加入団体



不登校児童について

議員 小学校低学年の不登校児童数の推移は？

教委 小学校1年生から3年生までの過去3年間の不登校児童数は、令和2年度7名、令和3年度17名、令和4年度19名と増加傾向にある。

議員 不登校児童への学校の対応は？

教委 児童一人一人に寄り添えるよう、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等とも連携し、教職員が一人で抱え込むことなく、担任以外の教員も含め、学校全体で支援体制を整えている。

その他の質問

・自転車の交通マナーについて

お役所言葉の見直しについて

議員 市役所の職員は、市民に対し必要な情報を正しく伝えるために、なるべくお役所言葉は使わず、分かりやすく、やさしい言葉を使ってはどうか。

市 職員は令和4年4月に見直した文書事務の手引きを利用し、分かりやすく、読み手に伝わる公用文の作成を心がけている。また、窓口においても、専門用語や片仮名語をできるだけ分かりやすい言葉に言い換えるよう、繰り返し研修を行い、身近で親しみを感ぜられる市役所を目指していく。

お役所言葉の見直し① 所管する → 管理する、担当する 周知する → 知らせる、伝える	お役所言葉の見直し② 〇月〇日から供用開始 → 〇月〇日から利用できます 10日以降は受け付けません → 9日までに申請してください
お役所言葉の見直し③ 特別徴収 → (年金などからの) 引き落とし 国保 → 国民健康保険 生保 → 生活保護	お役所言葉の見直し④ パブリックコメント → 意見公募 アセスメント → 影響評価 ワークショップ → 研究会

お役所言葉の一例



選挙の投票をしやすいするために

議員 高齢者や障がいのある方が、選挙で投票をしやすい環境をつくるために、他市で実績のある「投票支援カード」を取り入れてはどうか。

選管 投票支援カードについては、他市の事例などを参考に、本市においても、今後、導入に向けて検討を進めていく。

その他の質問

・マンションの適正管理について ほか

日本国憲法への基本姿勢について

議員 憲法第99条に規定されている憲法の尊重・擁護義務について、市長としての受け止めは？

市 地方自治体の首長として、当然ながらその義務を負う立場にあると考えている。

議員 国民主権、基本的人権の尊重、恒久平和の三原則、さらには地方自治などの憲法理念を市政においてどのように実現していくのか。

市 日本国憲法の基本三原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義は、平和と民主主義を願う国民の不断の努力によって守り続けられてきたものであり、これを堅持する姿勢をもって、今後の市政運営に取り組んでいく。

議員 憲法第12条、第97条の「不断の努力」について、どのように受け止めているのか。

市 地方自治体として、歴史的成果である基本的人権を、この先も不断の努力によって守り続ける責務を果たしていく。



その他の質問

・教育課題としての平和について



マイナンバーカードの健康保険証利用について

議員 マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、来年初には保険証が廃止されるが、そのリスクやマイナンバーカードは返却できることなどを市民に知らせる責務があるのではないのか。

市 市民の命や健康を守る立場として、現行制度の存続を求める。

市 現状では、法改正後、本市のみが従来の保険証の発行を続けることはできないが、制度の周知徹底と丁寧な手続の支援を心がけていく。

芦屋の市政運営について

議員 「自助・共助」を前面に押し出すことなく、行政の責務である「住民の福祉の増進」を明確に持った市政運営を求める。

市 行政の責務は、住民の福祉の増進を図ることを基本とした公共サービスの提供だと考えている。市民の皆様の最も身近な行政主体として、今後も市民の皆様生活を守るための必要な施策を適切に行っていく。

その他の質問

・学校給食の無償化について

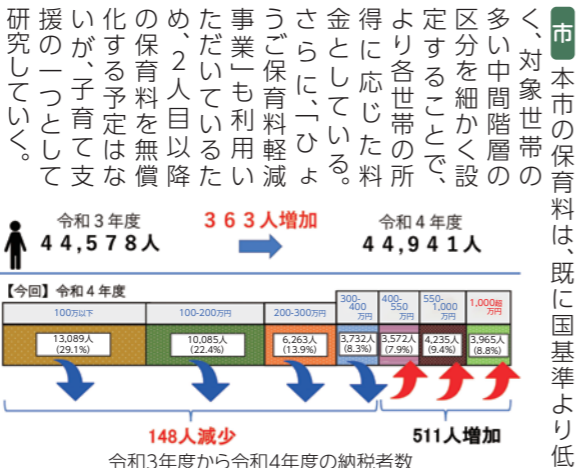
重大事故が多発する開森橋の安全対策について

議員 以前から取り上げて指摘していたが、5月・6月と開森橋付近で大きな事故が続いた。これまでの対策では不十分であり、市民の命を守るという行政の意識がいまだに欠如している。昭和36年の山手中学校における耐震マラソンでの死傷事故を忘れずに、複数の学校が使用する通学路であることを認識し、早急かつ確実な安全対策を強く求める。

市 県道奥山精道線および開森橋周辺における事故は、令和元年以降、7件発生している。これまで県と市では、減速を促す路面表示やシート、エンジンブレーキの活用を促す看板および歩道部への車止めの設置等の対策を行っている。また、県においても当該場所は危険であるとの認識はしており、対策も前向きに検討するとの回答を頂いている。



涼風町5番の教育施設用地の活用について



議員 所得制限によって、多子世帯に必要な支援が行き渡らないため、出生数を減らす要因にもなっている。保育料は2人目から所得制限なく無料にしてはどうか。

市 本市の保育料は、既に国基準より低く、対象世帯の多い中間階層の区分を細かく設定することで、より各世帯の所得に応じた料金としている。さらに、「ひまわり」保育料軽減事業も利用いただいているため、2人目以降の保育料を無償化する予定はないが、子育て支援の一つとして研究していく。

子どもに関する経済的な支援について



涼風町5番の教育施設用地の活用について

議員 「建設計画の実行に時間が必要」として、設計から建設を先延ばししていた市の保有地が令和9年3月に契約満了となる。地元住民等との協議はいつ行うのか。

市 涼風町5番の教育施設用地の活用は、市と教育委員会とで連携していく。

その他の質問

・市ホームページの現状の課題と改善点



質問後に設置された注意看板

その他の質問

・行政改革の進捗状況について
・屋外広告物条例のこれからについて

審議結果一覧

議案番号	件名	結果	主な内容
条例の一部改正			
報告 1	市税条例	承認	・新型コロナウイルスの影響を受けながらも新規に設備投資を行う中小企業等を支援するため、新規取得された事業家屋および償却資産について、固定資産税をゼロとする特例規定を廃止するもの ・軽自動車税種別割のグリーン化特例の適用期限を3年間、または2年間延長するもの
報告 2	職員の特殊勤務手当に関する条例	承認	新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、職員の特殊勤務手当の支給における新型コロナウイルス感染症への対処に係る防疫手当の特例措置の適用期間を令和5年5月7日までとしたもの
38	印鑑条例	可決	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、移動端末設備（スマートフォン）を用いた印鑑登録証明書の交付に係る規定を整備するもの
39	市税条例	可決	・令和6年度から個人市民税の均等割額に併せ、新たに年額1,000円の森林環境税を賦課徴収することを定めるもの ・マンション長寿命化促進税制として固定資産税の特例措置に係る減額割合を2分の1とするもの
40	こども家庭・保健センターの管理に関する条例	可決	新たに胃内視鏡検査を実施することに伴い、当該検査に係る使用料の規定を設けるもの
41	火災予防条例	可決	対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、急速充電設備の全出力の上限を撤廃するとともに、急速充電設備の設置に係る規定を整備する等のためのもの
令和5年度補正予算			
報告 3	一般会計補正予算（第1号）	承認	令和5年3月28日に国において予備費の使用が閣議決定されたことを受け、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの
34	一般会計補正予算（第2号）	可決	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯および家計急変世帯に対する電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業に要する経費の追加を行うもの
42	一般会計補正予算（第3号）	可決	物価高騰に係る支援事業、JR芦屋駅南地区市街地再開発事業等の事業費の追加（詳しくは4ページの「注目の議案」をご覧ください。）および消防救急デジタル無線機談合解決金に係る国庫補助金の返還金等の追加を行うもの
43	公共用地取得費特別会計補正予算（第1号）	可決	一般会計への土地売却に伴う市債の繰上償還に要する経費を追加するもの
48	一般会計補正予算（第4号）	可決	物価高騰等の影響を受けている保育施設等に対して、光熱費や食糧費等の価格上昇分の一部を支援するため、保育施設等原油価格・物価高騰対策一時支援金支給事業に要する経費を追加するもの
その他			
33	監査委員の選任	同意	令和5年4月30日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
35	副市長の選任	同意	令和5年6月9日をもって辞職した副市長の次期副市長を選任するもの
36	公平委員会委員の選任	同意	令和5年8月3日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
37	固定資産評価員の選任	同意	令和5年6月9日をもって辞職した評価員の次期評価員を選任するもの
44	朝日ヶ丘小学校外装改修工事請負契約の締結	可決	条件付き一般競争入札の結果、共同建設株式会社と1億9,896万8,000円で契約するもの
45	打出教育文化センター・図書館打出分室及び打出公園改修工事請負契約の締結	可決	詳しくは2ページの「注目の議案」をご覧ください。
46	損害賠償の額を定めることについて	可決	令和3年12月15日に相手方が、涼風町4街区先の歩道をランニング中に、バイクの通り抜け防止のために市が設置したチェーンに接触して転倒し、傷害を負った事故の損害賠償額を定めるもの
47	東海道本線芦屋駅構内芦屋第一跨線橋撤去工事に関する協定の締結	可決	詳しくは3ページの「注目の議案」をご覧ください。
議員提出議案			
1	芦屋市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決	国の公文文および社会一般の文書における読点の表記の実態等に鑑み、本規則に用いられている読点の表記を改めるもの
2	保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書	可決	国に対し、次の事項を早期に実施するよう強く要請するもの。①保育士の配置基準の引き上げを行うこと。②保育士等の処遇改善に必要な財源を十分に確保すること。③賃金水準の引き上げ等、保育士等に対し、さらなる処遇改善を図ること。
請願			
1	「キッチンカフェなりひら」の営業継続を求める請願書	不採択	シルバー人材センターが、再び「キッチンカフェなりひら」の営業を続けられるよう、スタッフを交えた話し合いの場を設けることに、芦屋市として協力をすることを求めるもの
2	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書	不採択	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求めるもの
3	市立学校体育館の空調・感染対策設備設置に関する請願書	採択	詳しくは4ページの「注目の議案」をご覧ください。
陳情※2			
1	丹波少年自然の家に関する陳情書（総務常任委員会）	不採択	丹波少年自然の家の存続を求めるもの
2	子どものために保育士の配置基準を引き上げるよう、国に対して、意見書の提出を求める陳情書（民生文教常任委員会）	採択	国に対し、保育士の配置基準を引き上げること等を要請する意見書の提出を求めるもの

※1 緑色は「賛否の分かれた議案等」を表しています。 ※2 陳情は委員会での審査結果です。

賛否の分かれた議案

●6月定例会で賛否の分かれた議案等の採決の結果は次のとおりです。

議案番号	議員名	会派名																	議決結果															
		あしや政風会					日本共産党 芦屋市議会議員団		公明党		日本維新の会		至誠会		芦屋しみんの未来		会派に属さない議員		結	賛	反	棄												
第38号議案	岩岡りょうすけ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第39号議案	福井利道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号議案	川上あさえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号議案	福井美奈子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	福井美奈子	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	福井美奈子	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ [○]…賛成、[×]…反対、[-]…議長（議長は表決に参加しません）

議会新体制紹介

5月臨時会（5月18日）に議長・副議長をはじめ、議会役員を選出しました。なお、議長・副議長・阪水議員は議員21名による投票により選出しています。また、各常任委員会や議会運営委員会の委員なども選任し、議会の新体制が整いましたので紹介します。

【阪神水道企業団議会議員】
寺前 尊文
【監査委員（議会選出）】
川上 あさえ

議長・副議長などを選出



【議長】帰山 和也 【副議長】大原 裕貴

【議会運営委員会】
委員長：福井 利道
副委員長：川島 あゆみ
委員：浅海 洋一郎、寺前 尊文、
田原 俊彦
【議会報編集委員会】
委員長：帰山 和也
副委員長：大原 裕貴
委員：原 なつ子、西崎 薫、
中村 亮介、川島 あゆみ、
橋本 隆、西村 まさと

常任委員会委員紹介

総務常任委員会



田原 俊彦 委員長 中村 亮介 副委員長 福井 利道 委員 原 なつ子 委員 寺前 尊文 委員 大原 裕貴 委員 平野 貞雄 委員

民生文教常任委員会



たかおか 知子 委員長 浅海 洋一郎 副委員長 岩岡りょうすけ 委員 山口 みさえ 委員 西崎 薫 委員 ひろせ 久美子 委員 西村 まさと 委員

建設公営企業常任委員会



川島 あゆみ 委員長 中島 健一 副委員長 長谷 基弘 委員 川上 あさえ 委員 福井 美奈子 委員 橋本 隆 委員 帰山 和也 委員

会派の結成状況

新議会では、6つの会派が結成されました。会派構成および正副幹事長は、右表の名簿のとおりです。会派とは、議会内で同じ政策を持つ議員の集団です。本市議会では所属政党とは別に会派を結成することが慣例化しています。会派制は、会派を単位とするため、効率的な議会運営ができる利点があります。

会派名	所属議員（◎幹事長 ○副幹事長）		
	あしや政風会	◎福井 利道 原 なつ子	○川上 あさえ 福井 美奈子
日本共産党 芦屋市議会議員団	◎川島 あゆみ	○ひろせ 久美子	平野 貞雄
公明党	◎田原 俊彦	○帰山 和也	西村 まさと
日本維新の会	◎浅海 洋一郎	○橋本 隆	大原 裕貴
至誠会	◎寺前 尊文	○西崎 薫	中島 健一
芦屋しみんの未来	◎たかおか 知子	○中村 亮介	
会派に属さない議員	山口 みさえ	長谷 基弘	

議会のナゼ? なに? 再発見!

議会クイズ 第43回

◆問題 [出題者] 橋本隆委員

3月定例会で、各会派が市長の施政方針に対して行う質問を総括質問といいますが、6月、9月、12月の定例会で、各議員が市の行政全般について行う質問は何でしょうか。

- ① 定例質問 ② 一般質問 ③ 特別質問

◆前回のクイズの答え ※前回の応募件数は56件

「芦屋市では、令和5年4月から「こども家庭センター」を芦屋市保健センターと一体的に設置し、子ども家庭支援全般に取り組む体制強化を図るとともに、名称を改めます。さて、どのような名称になるでしょうか。」の正解は「③芦屋市こども家庭・保健センター」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)を差し上げます。正解は11月発行予定のあしや市議会だより126号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議会クイズ 議長・副議長による抽選会 抽選箱

◆応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第43回議会クイズ応募」としてください。
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善の参考にさせていただきます。

◆応募締め切り

令和5年(2023年) 8月28日(月)まで

※当日消印有効

◆応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス: gijityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報や賞品の発送以外には使用しません。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



QRコード↑
(メールアドレス)

市議会ホームページで なにができる?



芦屋市議会

市議会だよりの電子版を読む

市議会だよりのPDF版を掲載しています。また、スマートフォンアプリ「マチイロ」も利用可能です。(アプリの利用方法も併せて市議会ホームページに掲載しています。)

会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信しています。また、会議終了後、おおむね3日後から1年間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレット端末でも閲覧が可能です。

過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会・特別委員会等の会議録を調べたり、見たりできます。

政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議結果、議員一人一人の賛否などを公開しています。また、委員会で使用する資料や、委員会に送付した陳情書も公開しています。

請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

9月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどでお確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
8/21	22	23	24	25	26	27
				議会運営委員会		
28	29	30	31	9/1	2	3
本会議(提案説明)	建設公営企業常任委員会	民生文教常任委員会	総務常任委員会	委員会(予備日)		
4	5	6	7	8	9	10
	議会運営委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問等) 決算特別委員会		
11	12	13	14	15	16	17
委員会(予備日)						
18	19	20	21	22	23	24
	議会運営委員会	本会議(決算以外採決)	決算特別委員会(建設公営企業分科会)	決算特別委員会(民生文教分科会)		
25	26	27	28	29	30	10/1
決算特別委員会(総務分科会)	決算特別委員会(分科会予備日)	決算特別委員会(分科会予備日)				
2	3	4	5	6	7	8
	決算特別委員会		議会運営委員会	本会議(決算採決)		

●本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

6月定例会を終え、第21期の芦屋市議会議員は新体制で活動を開始しております。開かれた議会、身近な議会の様子をお届けいたします。今年は局地的に強い雨が降ったり、記録的な大雨を観測する地域もありました。日頃から防災意識を高めて備えておきましょう。

暑い日が続きますが、体調を崩されませんように。

【編集委員】原 なつ子